

ちびっ子鬼物語 「サダちゃん転校」の巻

※登場人物

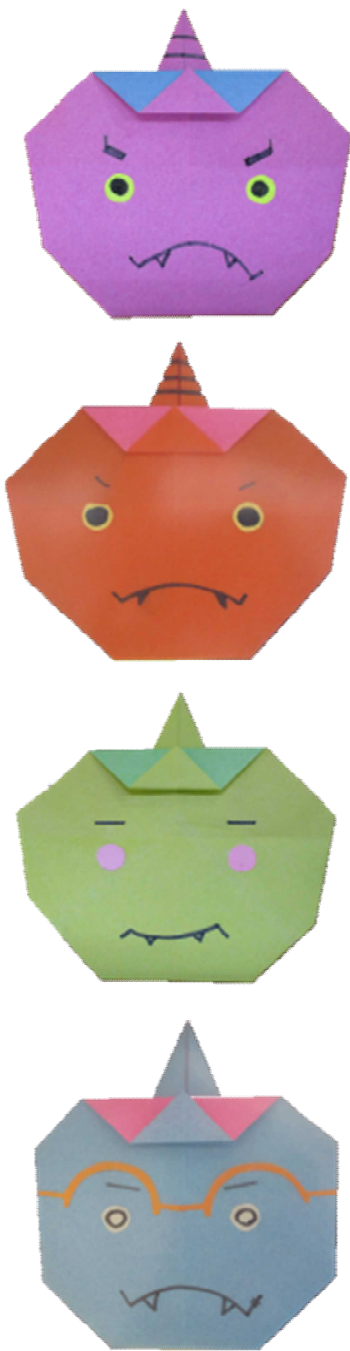
- ① 子鬼の**トシちゃん**(性格は、ちよつとヤンチャですが頑張り屋です。)
- ② 子鬼の**コウちゃん**(性格は、おっとりしていますが、頭の回転が速いです。)
- ③ 子鬼の**サダちゃん**(性格は、天真爛漫です。)
- ④ 新しい友だち・子鬼の**イサムちゃん**(性格は、人に優しくクラスのため役です。)
- (四人は笑鬼小学校の同じクラスの一年生です。)
- ⑤ 駄菓子屋のおばちゃん(性格は、優しいおばちゃんです。)
- ⑥ トシちゃんのお母さん(性格は、明るくて話し好きです。)
- ⑦ サダちゃんのお母さん(性格は、何でもテキパキ片づけるお母さんです。)

サダちゃん

トシちゃん

コウちゃん

イサムちゃん



「子鬼のトシちゃんコウちゃんサダちゃんは、同じクラスのイサムちゃんと四人で、授業が終わってから学校の校庭で遊ぶ約束をしています。」

▼**トシちゃん**

まだ誰も来ていないや。オイラが一番！

▼**コウちゃん**

まっただあ。僕二番！

▼**イサムちゃん**

はじめて一緒に遊ぶよね。よろしく。

▼**サダちゃん**

「遊ぶ約束をしたサダちゃんがまだ来ないのです。……」

「その言葉に、トシちゃんやみんなは、天真爛漫なサダちゃんがいつもと違って元気が無いことに気づきました。」

▼**コウちゃん**

今日は「缶けり」で遊ぶうよ。いいよーそうしようーそれで決まり。

▼**イサムちゃん**

「缶けり」をはじめめるには、地面に丸く円を描いて、その中に空き缶を置いて、準備完了。

▼**トシちゃん**

ジャンケンで鬼を決めるよ。最初はグー。ジャンケンポン。アイコデシヨ。アイコデシヨ…。

オニはサダちゃんに決まりー！

▼**コウちゃん**

缶をけるのは、イサムちゃんお願い。

▼**イサムちゃん**

缶をけるよ。カーン。カン。カン。

▼**サダちゃん**

「サダちゃんは、缶を元の位置に戻し、隠れているみんなを探しに行くのでした。」

▼**コウちゃん**

桜の木の後ろに隠れているコウちゃん見つけ。…イサムちゃん見つけ。…トシちゃん見つけ。これで全員捕まえた。次のオニはコウちゃんに決まり！…カーン。カン。カン。

▼**コウちゃん**

よーし、缶をひろって元の位置に戻して、みんなを探しに行くぞー…トシちゃん見つけ。…次のオニはトシちゃん。よーし行くよ。……

①



「みんなは缶けりに夢中で遊んでいます。その時、ピンポンパンポン・ピンポンパンポン(これから何かを放送する合図です。)、四時半の下校の時刻になりました。忘れ物が無いよう家に帰りましょう。ピンポンパンポン、ピンポンパンポン。」

▼**トシちゃん**

コウちゃんサダちゃんイサムちゃん、放送委員から下校の時刻の放送があったから帰ろうよ。……

うよ。……

「そうして、みんなは忘れ物が無いことを確認し家に帰って行くのでした。」

▼**トシちゃん**

ただいま。帰ったよ。

▼**トシちゃんのお母さん**

お帰りなさい。今日買ひ物の帰りに、駄菓子屋の前でおばちゃんとサダちゃんの

お母さんが立ち話をしていたのであいさつしたら、サダちゃんのお母さんから、お父

さんが公民館を退職し隣町に引っ越すので、色々とお世話になりましたって言うてたの

よ。トシちゃんにも仲良くしてもらってありがとって言うてたよ。

「その話を聞いたトシちゃんは、サダちゃんの元気が無かったのは転校するとオイラ達といっしょに遊んだりできなくなるから。きつと寂しさや不安でいっぱいなんだと考えました。そしてトシちゃんは、サダちゃんが転校することを、みんなに話すのでした。」

▼**コウちゃん**

サダちゃんが転校しちゃうんだ。…寂しいな。サダちゃんとトシちゃんと三人で幼稚園

の年長の時にお金の計算を一生懸命勉強しておぼえたよね。公民館の周りで鬼ごっこをし

て遊んだり、駄菓子屋のおばちゃんのところへも、おやつを買いに行ったよね。

▼**イサムちゃん**

僕も笑鬼小学校一年生の同じクラスになって、よく話をするようになってようやくお

友達になれたのに。寂しいよー

▼**トシちゃん**

みんな色々な思い出があつて…寂しいよう。……

「みんなは寂しい気持ちでいっぱい。しばらくの間この場合は静まり返っていました。」

▼**コウちゃん**

トシちゃんイサムちゃん、僕たちは友だちのサダちゃんが転校するので寂しいけれ

ど。…サダちゃんは友だちの僕たちと別れる寂しさだけじゃなくて、住む家も変わるし、

友だちもいない小学校へ転校する不安でいっぱいだと思うんだ。…僕たちの寂しい気持ち

とサダちゃんの寂しさ・不安を追い払い、サダちゃんが勇気を持って転校していける良い方

法は無いかなあ。……

「みんなで何か良い方法はないか一生懸命考えるのでした。……」

▼**イサムちゃん**

そうだ！ トシちゃんコウちゃんこんなことがあったんだ。



「さて、イサムちゃんからどんな良い方法がでてくるのでしょうか？」

前編は、……で終わります。少し休憩しましょうー！

イサムちゃんが考えた良い方法とは？……

後編を楽しみにしててください！

②

▼**イサムちゃん** そうだ！ トシちゃんコウちゃんこんなことがあったんだ。僕の家のおじいちゃんが二

年前に亡くなって、亡くなったおじいちゃんが天国へ行っても幸せでいられるように、お寺でお坊さんにお経を読んでもらい、みんなで順番にお線香をあげお祈りをしたんだ。その時のことなんだけど。：広くて静かな大きな部屋の中でイスに腰かけて、お線香の匂いとお坊さんのお経を聞いて二十分くらいして目を開けると、不思議なことに頭の中がスッキリして、気持ちがすごく落ち着いていて、ちよびり勇気も生まれたんだ。

▼**トシちゃん** イサムちゃん不思議な体験だったね。コウちゃんとサダちゃんも誘ってみんなでお寺に行ってみようか！

「イサムちゃんは、お寺での体験を再現するためにお坊さんをお願いをしました。・・・お坊さんは願いを快く引き受けてくれました。そして学校が終わってからみんなでお寺に向かう毎日が続けた。・・・今日で一週間が経ちます。みんなの気持ちが落ち着いてきたようです。またサダちゃんは少し勇気が生まれたようです。」

▼**トシちゃん** イサムちゃんありがとう。オイラ以前のように気持ちが落ち着いているよ。

▼**コウちゃん** 僕もだよ。

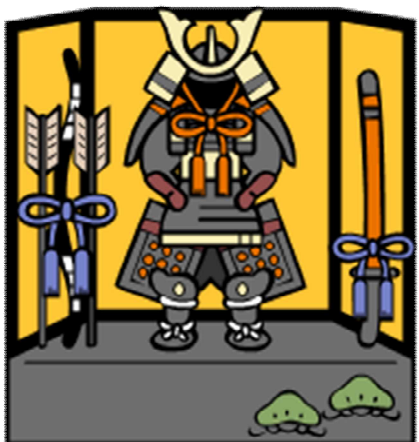
▼**サダちゃん** みんなオレのことを心配してくれてありがとう。うそのように気持ちも落ち着いたらよ。転校しても新しい友だちができると思えてきたよ。もうすぐ隣町へ引っ越すけれどこれからもずっと良い友だちでいてよね。

▼**トシちゃん、コウちゃん、イサムちゃん** もちろんだよ！サダちゃんは、ずっと僕らの友だちだよ。
▼**サダちゃん** 四月から新しい学校の新学期が始まって、五月五日の「こどもの日」に駄菓子屋のおばちゃんのところへ集合して遊ぼうよ。

▼**トシちゃん、コウちゃん、イサムちゃん** それは良い考えだと思う。オッケーです。

▼**サダちゃん** おばちゃんには五月五日の「こどもの日」に四人で遊びに行くって話しておくよ！

「サダちゃんは、いつも優しくしてくれたおばちゃんのところへ行き、今までお世話になったお礼を言いました。それと転校することで寂しさや不安で頭の中がいつぱいの時、みんなが自分のことのように心配し励ましてくれたことも話しました。そして「こどもの日」にトシちゃんコウちゃんイサムちゃんと四人で遊びに行く約束をしました。」「・・・」やがてサダちゃんは隣町に引っ越して行きました。・・・そして新学期が始まり一ヶ月が経ちます。」



③

▼**サダちゃん** 明日は「こどもの日」。みんなに会えるんだ。嬉しいな。今夜眠れるかなあ？

▼**トシちゃん、コウちゃん、イサムちゃん** 明日サダちゃんと遊べる。嬉しいな。

「さて、今日は待ちに待った五月五日『こどもの日』午前十一時に駄菓子屋へ集合です。」

▼**トシちゃん、コウちゃん、イサムちゃん、サダちゃん** おばちゃんこんにちは。

▼**おばちゃん** みんなできたのね。サダちゃんはしばらくだね。新しい学校にもなれた？

▼**サダちゃん** 転校して一ヶ月が経って、近所に住んでいる同じクラスの男の子の友だちが一人できたよ。学校が終わると二人で今日の復習と明日の予習を終わらせてから遊んでいるんだ。

▼**おばちゃん** それは良かった。：今日五月五日は子どもの日、端午の節句と言って、五月人形を飾り鯉のぼりをあげて、男の子が病気や事故などにあわないで、すくすく成長するようにお祝いする日なのよ。だからおばちゃんがみんなに「ごちそうするよ。飲み物はサダちゃんにコーラ、コウちゃんはラムネ、トシちゃんサイダー、イサムちゃんはグレープジュースだったね。遠慮なく飲んでね。：それから、「かしわ餅とちまき」も食べてね。

「しばらくぶりに駄菓子屋へ集合した、トシちゃんコウちゃんイサムちゃんとサダちゃんの四人は、ワイワイ楽しそうに遊んでいます。」

▼**おばちゃん** 「竹の子ご飯」ですよ。食べてね。：竹の子ご飯はね。みんなが竹のように真っ直ぐすくすくと育ってほしいという願いを込めて作ったのよ。

▼**イサムちゃん** おばちゃん「竹の子ご飯」おいしいね。ほんとにおいしいよ。

▼**サダちゃん** あ！もう四時だ。家に帰る時間だ。楽しいと時間がすぐに経っちゃうね！

▼**トシちゃん、コウちゃん、イサムちゃん** サダちゃんまた遊ぼうよ！

▼**サダちゃん** 次に遊ぶ時には僕の友だちもつれて来るよ。

▼**おばちゃん** みんな気をつけて帰るのよ。ハイ。：「ちよびりさまでした。また来ます。」

「そして四人は、再会を楽しみに家に帰っていくのでした。・・・」

▼**おばちゃん** サダちゃんが転校する寂しさや不安でいつぱいだった時、トシちゃんやみんなも寂しかったと思うけれど、自分のことのようにサダちゃんのことを心配してあげて、本当にえらいよ。サダちゃんもその気持ちを分かかってあげてえらいよ。：みんなチヨビリ大人になったように見えたね。いつまでも良いお友だちでいてね。：次はいつ頃、みんな遊びに来るのかな？：またチヨビリ大人になったみんなを見るのが楽しみだね。

「サダちゃん転校」の巻 おわり



④